

図書だより

平成29年5月発行
文京区立本郷台中学校
図書館司書 松田飛鳥
第2号

梅雨号

雨の多い季節となりました。
時折、紫陽花からこぼれる雨の滴が弾むように軽やかで
静かな雨の音楽を聴きながら
本を読むのもまたいい季節です。
そろそろ夏休みの長期貸出しに向けて
あたらしい本を入れたいと思います。
おすすめの本で、まだ図書館にない本があったら
ぜひ教えてください。

図書館の利用案内

利用日時 平日12時から17時(月火木金)
貸出冊数 1人2冊
貸出期間 14日間
※上記は変更することがあります。
※本の未返却が多数あります。図書館に持ってきて
ください。

“ことのは”

6月11日は入梅で『傘の日』でもあります。日本人が傘を持つ平均日数は90日。4日に1回は傘がいる計算です。江戸時代の絵巻では入梅は「盗賊が荷物を奪って逃げていく絵」で表現されています。何故でしょう？裏へ続く…

空に関する本



『あの空をおぼえてる』ジャネット・リー・ケアリー ポプラ社 2003年 933 本郷台中学校

ある日僕と妹ははねられた。妹は死んだ。僕も死んだ、でもママとパパが悲しむから僕は引き返した。少年は、亡くなった妹に向けて日記を綴る。身内の死を乗り越えようとする家族の涙の物語。



『空の名前』高橋健司 角川文庫 1990年 451 本郷台中学校

日本人の繊細な感性と豊かな情緒が生み出した、季節や天候の移ろいに関する言葉の数々。雲、風、水、光、氷などを表現する沢山のメッセージを含んだ言葉を、美しい写真と共に綴る。



『青空のむこう』アレックス・シアラー 求龍堂 2002年 933 本郷台中学校

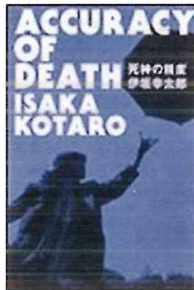
この世に思いを残したまま死んだ少年が、ゴーストとなって戻ってくる。友だち、家族に思いを伝える術を探しながら最後には…。

空に関する本

公共図書館にある本です。



『世界はもっと美しくなる』寮美千子 ロクリン
ネ社 2016年 911 公共図書館
奈良少年刑務所に収監されている受刑者
たちによる詩集。「中二病の空模様 つまら
ない日常から抜け出したい そう思っていた
僕の世界は一瞬で変わった ...取り返しのつ
かないことになった もっと空を見ればよかつ
た」



『死神の精度』伊坂幸太郎 文藝春秋
2005年 913 公共図書館
死神が現れると必ず雨が降る。死神はCD
ショップで楽しそうに視聴用CDを聞いている。
「7日後に死亡する予定の人間」を調査する
ため、街に現れる死神。この人間は死かそ
れとも見送りか。



『雨の降る日は学校に行かない』相沢沙呼
集英社 2014年 913 公共図書館
生きにくい。昼休みする事が無い。悪いの
はわたしのほうなの？人見知りするから。暗
いから。だから私のこと死ねって笑うんでき
か？普通じゃなくてごめんなさい。どうすれば
戦えるんだろう。

スポーツに関する本

晴れの日に備えてスポーツの本でも。



『錦織圭』本郷陽二 汐文社 2015年 289
本郷台中学校
幼い頃最初のライバルは姉だった。負けると
悔しがって泣き、勝つまでやり続けた。怪我と闘
いながら「人間の本当の強さは何度転んでも起
き上げること」と自らを奮い立たせた彼の強さの
秘密がわかる。



『足に魂こめました』一志治夫 文藝春秋 1993年
783 本郷台中学校
両親の死に目に会えない覚悟で、片道切符のみ
渡されて15歳でブラジルに渡った。闘争心と落ち着
く気持ちが備わらないとプレッシャーに勝てないと
自らの精神論を説いている。



『体操ニッポンの新星 白井健三』本郷陽二
汐文社 2016年 289 本郷台中学校
一歳になっても歩き始めなかった、水泳が苦手
など意外なエピソードも。スポーツのみならず、勉
強にも集中力を発揮し、努力家の一面が垣間見
える本。

ことのは 入梅(にゅうばい)→にうばい→荷奪い